



はやぶさの空 (2010年)



樹の曲・春を待つ樹 (2010年)

姫路科学館・星景写真展

と き いろ  
時空の彩

Chromatic Space - Time

2014 2015  
12.19(金) - 1.19(月)

姫路科学館 特別展示室

開館時間：9時30分～17時(入館は16時30分まで)

休館日：火曜日、12/24、12/27～1/3

料金：無料(常設展示、プラネタリウムは別料金)

写真：大西浩次(星景写真家)



〒671-2222 兵庫県姫路市青山1470-15

電話：079-167-3001、ファックス：079-267-3959

<http://www.city.himeji.lg.jp/atom/>



星空を見るとき、人間の視覚の広さにマッチして星座を作り神話などの物語ができてきた。しかし、現在の宇宙を考えると、目に見える星空は我々の銀河系（天の川銀河）のごく一部、たかだか 300 光年程度の恒星が中心で、その遙か漆黒のバックグラウンドの中に 137 億光年にわたる宇宙が埋もれているのだ。私はこの地上からの風景の向こうの星座を作る星々やその背景に埋もれている深遠の宇宙を「面として捉えたい」と考える。だから広角の視野の中で、星と星の位置関係や地上の風景との織りなす光景、あるいは、長時間露光すると星の軌跡が幾何学的なパターンとして樹と対比したり、短時間露光では点としての星と地上の形を捉えたりしたいと考えた。その中で宇宙の中に浮かぶこの地球の存在を強調したいのだ。時空の彩、星空の作る時間と空間の「彩」、作品全体として捉えていただけると幸いである。

大西浩次

## 星景写真展『時空の彩』関連イベント

2014年12月23日（火・祝日）

1回目：午前10時30分から

講演「あなたも系外惑星のなづけ親」  
+ギャラリートーク（作品解説など）

国際天文学連合 (IAU) による、太陽系外惑星命名プロジェクトが始まっています。主な太陽系外惑星系の名前を世界中からの公募と投票によって決めるというのです。あなたも系外惑星のなづけ親になってみませんか？

2回目：午後1時30分から

講演「星景写真から宇宙へ」  
+ギャラリートーク（作品解説など）

地上の風景と星空を同時に写した写真を「星景写真」と呼びます。これらの写真の向こうに広がる宇宙をご紹介します。

## 大西 浩次 (おおにし こうじ)

1962年6月富山県生まれ（52歳）

長野県長野市在住

博士（理学）

長野工業高等専門学校一般科教授



日本星景写真協会監事、国際天文学連合会員、日本天文学会、天文教育普及研究会ほか



夢の縁へ (2010年)